

取扱説明書

緊急地震速報 受信装置

型番：DN-SH500J



緊急地震速報のリーディングカンパニー



株式会社 J コーポレーション

総合窓口 TEL 0742-53-7833

〒631-0011 奈良県奈良市押熊町 557-7-4F

<https://www.jcorp.co.jp> fax 0742-53-7795



※緊急地震速報配信業者：株式会社ドリームウェア（地震動の予報業務許可事業者 許可第 148 号）

目次

1 ご利用になる前に	
・ ご利用になる前の重要事項	3
・ 梱包内容の確認	6
2 各部の名称と機能	
・ 各部の名称と機能	7
3 本装置の設置と起動	
・ ネットワークの設定	10
・ 本装置の設置	11
・ 本装置の起動	13
4 放送設備・外部機器と接続	
・ 本装置と放送設備・外部機器との接続図	14
・ 外部接続端子	15
・ 外部機器からの入力	16
・ 放送設備・外部機器と接続	17
5 音量設定	
・ 内蔵スピーカー及びライン出力の音量を設定	18
6 動作確認	
・ 放送設備・外部機器の動作を確認	19
7 防災訓練	
・ 本体のボタン操作による地震の防災訓練	20
・ サーバー配信による地震・津波の防災訓練	20
8 定期点検	
・ ランプの状態を確認	21
・ 放送設備・外部機器の動作を確認	21
9 本装置の動作設定（参考資料）	
・ 地震に関する設定	22
・ 地震の発報アナウンス	24
・ 津波に関する設定	27
・ 津波の発報アナウンス	27
・ 出力設定	30
・ 入力設定	34
10 困ったときは	
・ トラブルシューティング	35
11 仕様	
・ 仕様書	36

本取扱説明書は本装置の取扱い上の注意、操作方法、製品仕様について説明しています。
本取扱説明書をよくお読みの上、内容を理解してからお使いください。
お読みになった後も、大切に保管してください。

本装置を安全にお使いいただき、人体への危害や財産への損害を未然に防ぐために守っていただきたい事項が、本取扱説明書の「警告」と「注意」に記載されています。
安全にご使用いただくために、必ずお読みください。

本取扱説明書の内容の一部を性能や機能の向上などにより、予告なく変更することがあります。
本取扱説明書の内容を無断で転載、複製することを禁止します。
本装置を廃棄するときは、地方自治体の条例、または規則に従ってください。
本装置に対するお問合せなどがございましたら、弊社までご連絡ください。

■ ご利用になる前の重要事項

緊急地震速報の特性や限界により、次のようなおそれがあります。これにより、本装置が発報しない、発報が間に合わない、または震度・到達猶予時間などの予測演算数値に誤差が生じることがございますので、予めご了承ください。

1. 緊急地震速報の発表から大きな揺れが到達するまでの時間は、長くても十数秒から数十秒と極めて短い時間です。
2. 震源に近いところでは地震到達までに緊急地震速報が間に合わないことがあります。(直下型)
3. ごく短い時間のデータだけを使った情報であることから、予測結果に誤差を伴う場合があります。
4. 震源の深さが 150km 以上深い場合(深発地震)は予測結果に大きな誤差を含む事があります。
5. 短い間隔で複数の地震が発生した場合、震源の特定が困難となり予測結果に大きな誤差を含んだり予測できない事があります。
6. 落雷、事故、機器の故障等により、誤報が発生する可能性があります。
7. 緊急地震速報は、サービス品質、及び正確性(地震発生時に必ず情報が伝達、及び発表されること、情報の伝達が地震の到達の前に必ず間に合うこと、誤報、誤差が生じないことを含む)について一切保証されません。

※気象庁が実施する訓練報に関してはお客様自身が訓練の内容、及び配信日時等を確認の上対応してください。

※緊急地震速報について十分理解し、日頃から、地震を想定した行動マニュアルの整備や、定期的な避難・防災訓練の実施に努めてください。

※緊急地震速報で使用する NHK 報知音(チャイム音)は、NHK に帰属しています。

◆ 警 告

誤った取扱いをすると、人が死亡する可能性、または重傷を負う可能性があります。

爆発性のガスがある場所で使用しないでください。

周囲に爆発性のガスがある場所で使用すると、爆発の原因になります。

煙が出る、異臭、または異音がする場合は、直ちに電源プラグをコンセントから抜いてください。

そのまま使用すると、感電・火災・故障・けがの原因になりますので、弊社に修理をご依頼ください。
お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

水が入らないよう、また、濡らさないようご注意ください。

濡らしたまま使用すると、感電・火災・故障・けがの原因になります。

水などが入った場合は、弊社に修理をご依頼ください。

濡れた手で電源コネクタやケーブルにさわらないでください。

濡れた手でさわると、感電の原因になります。

ぐらついた台の上や、傾いた所など不安定な場所に本装置を設置しないでください。

落ちたり、倒れたりすると、感電・火災・故障・けがの原因になります。

本装置のカバーが破損した場合は、弊社に修理をご依頼ください。

規定の AC アダプターを使用してください。

規定の AC アダプター以外を使用すると、感電・火災・故障・けがの原因になります。

隙間などから金属や燃えやすい異物を入れないでください。

隙間などから異物を入れると、感電・火災・故障・けがの原因になります。

異物が入った場合、電源プラグをコンセントから抜き、弊社に修理をご依頼ください。

本装置のカバーやパネルを外さないでください。

内部には電圧の高い部分がありますので、さわると感電の原因になります。

点検、または修理を行う場合は、弊社にご依頼ください。

改造しないでください。

改造すると、感電・火災・故障・けがの原因になります。

改造した場合は修理に応じられないことがあります。

電源コード、接続ケーブルの取扱いについては以下の事項を厳守してください。

電源コード及び接続ケーブルは、束ねない、加工しない、引っ張らない、加熱しない、濡らさない、ねじらないでください。

◆注 意

誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性及び物的損害が発生する可能性があります。

人命に関わるような外部機器の作動・制御には使用しないでください。

長時間ご使用にならない時は、安全のため、電源プラグをコンセントより抜いてください。

コネクタに規定外の端子を接続したり、電圧を加えたりしないでください。

コネクタに規定外の端子を接続したり、電圧を加えたりすると、感電・火災・故障・けがの原因になることがあります。

本装置の上に物を置かないでください。

上に物を置くと、カバーが内部回路に接触し、感電・火災・故障・けがの原因になることがあります。

故障したまま使用しないでください。

故障したまま使用すると、感電・火災・けがの原因になることがあります。

弊社に修理をご依頼ください。

湿気やほこりの多い場所に置かないでください。

湿気やほこりの多い場所に置くと、感電・火災・故障・けがの原因になることがあります。

規定の動作範囲内でご使用ください。

動作範囲外で使用すると、故障の原因になることがあります。

使用できる温度範囲及び湿度範囲は製品仕様に明記してあります。

損傷したケーブルや AC アダプターを使用しないでください。

損傷した物を使用すると、感電・火災・故障・けがの原因になることがあります。

本装置を輸送する場合は、ご購入時の包装材料が同等以上の包装材料をご使用ください。

輸送中に本装置にかかる振動や衝撃が大きいと、故障や火災の原因になることがあります。

業者に輸送を依頼するときは、包装箱のすべての面に「精密機械在中」などの表示をしてください。

室内でご使用ください。

本装置は防塵、防水及び防滴仕様ではありません。

室内でご利用ください。

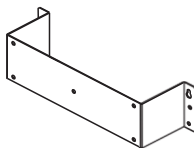
直射日光の当たる場所は避けてください。

梱包内容の確認

開封時に下記梱包品がすべて揃っているかを確認してください。



●本体 x 1 台



●掛け用ブラケット x 1 個



●滑り止めゴム x 4 個



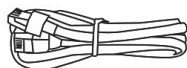
●ブラケット固定用ねじ x 5 本
※オプションのラックマウント固定用
ねじとしても使用できます。(P.11 参照)



●壁掛け用ねじ x 4 本



●A Cアダプター x 1 個



●LAN ケーブル 2 m x 1 本



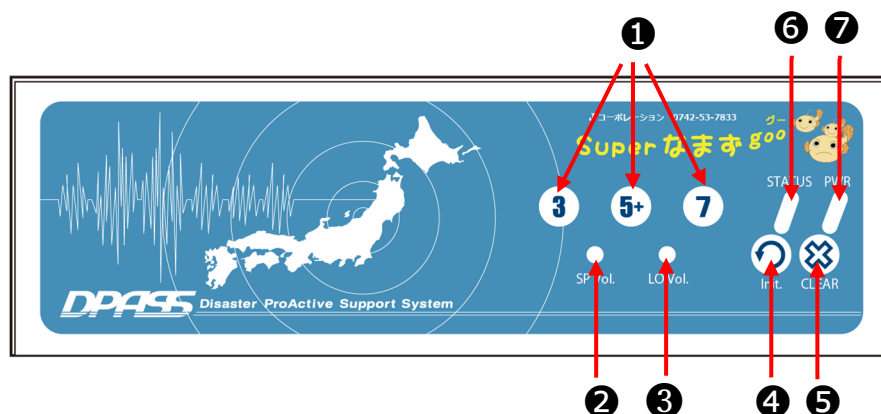
●コード固定具(樹脂製) x 3 個



●保証書 x 1 枚

各部の名称と機能

◆前面



①動作確認ボタン

動作確認テストを行います。

3は「震度3」、5+は「震度5強」、7は「震度7」で動作確認テストのアナウンスが流れます。

②内蔵スピーカー音量調節 (SP Vol.)

内蔵スピーカーの音量を設定します。

③ライン出力音量調節 (LO Vol.)

ライン出力の音量を設定します。

④Init.ボタン

※弊社から依頼がない限り、押さないでください。

⑤CLEAR ボタン

地震の発報動作以外の全ての動作（接点含む）を停止します。

※地震の発報動作は、カウントダウン終了後は CLEAR ボタンで停止することができます。

⑥動作表示ランプ (STATUS : 緑)

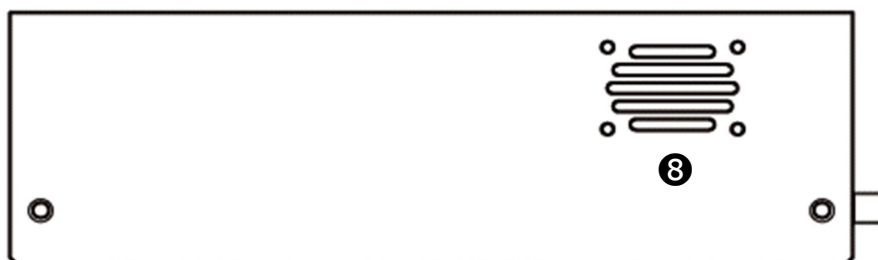
緊急地震速報配信サーバーとの接続状況（通信状況）表示します。

接続状況（通信状況）に問題がある場合は点滅します。

⑦電源ランプ (PWR : 赤)

電源 ON のときは点灯、本装置に障害がある場合は点滅します。

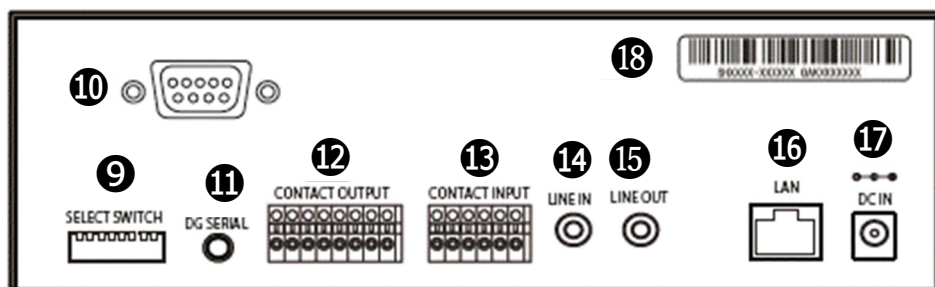
◆側面



⑧内蔵スピーカー

右側面、左側面の両方に内蔵スピーカーがあります。

◆背面



⑨DIP スイッチ

接点出力方式の設定に利用します。

※出荷時は①～④まですべて ON（下げる）の状態です。

※ディップスイッチ⑤⑥⑦⑧はメンテナンススイッチです。

変更すると動作しなくなりますので、**必ず ON のまま**でご利用ください。

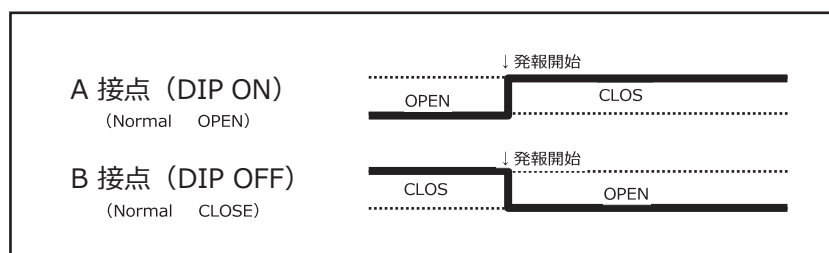


ディップスイッチ①～④ 接点出力方式設定

OFF にすると、該当する接点出力は A 接点方式から B 接点方式に切り替わります。

出荷時の設定

スイッチ番号	設定機能	OFF	ON
①	DO1 の接点出力方式	B 接点	A 接点
②	DO2 の接点出力方式	B 接点	A 接点
③	DO3 の接点出力方式	B 接点	A 接点
④	DO4 の接点出力方式	B 接点	A 接点



⑩診断用コネクタ ⑪診断用コネクタ

本装置を診断するための端子です。(お客様はご利用できません)

※診断用コネクタにイヤフォン等を挿入しないでください。故障の原因となる恐れがあります。

⑫接点出力端子 (4 チャンネル無電圧ループ)

外部機器に制御信号を出力するための出力端子です。放送設備・外部機器などを接続します。

⑬接点入力端子 (3 チャンネル無電圧ループ)

外部機器からの制御信号を入力するための入力端子です。震度計や外部機器との連動、または放送設備などの入力端子数に余裕がない場合に利用します。

⑭ライン入力コネクタ (音声スルー機能)

外部機器からの音声を入力するための入力端子です。入力された音声信号は⑮ライン出力コネクタから出力されます。

⑮ライン出力コネクタ

外部機器に音声を出力するための出力端子です。放送設備などに接続します。

⑯LAN ポート

LAN ケーブルを接続するポートです。

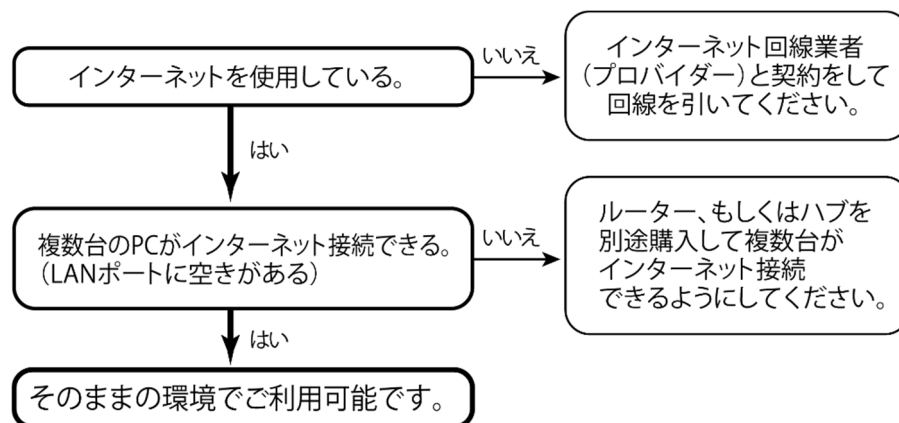
⑰DC コネクタ

付属の AC アダプターを接続する入力端子です。

⑱製品バーコードラベル

■ ネットワークの設定

◆ ネットワーク環境を確認



設置するネットワークには、以下の条件が必要になります。ファイヤーウォールを設定している場合はご注意ください。

- ・インターネット常時接続環境
- ・LAN 側から WAN 側に対して TCP9001 番・9003 番ポートの開放

◆ DHCP 環境で利用する場合

工場出荷時の IP 設定は自動取得 (DHCP) になっております。本装置を DHCP 環境でご利用の場合は、そのままご利用になれます。

LAN ケーブルを接続してから AC アダプターを接続すると、端末は自動的に IP を取得します。IP 自動取得完了後には動作表示ランプ (STATUS : 緑) と電源ランプ (PWR : 赤) が点灯になります。

◆ 固定 IP 環境で利用する場合

固定 IP アドレスで利用される場合は、弊社で設定して出荷いたします。

お客様で変更を希望される場合は、弊社までお問合せください。

■ 本装置の設置

設置方法は3通りあります。

誘導雷対策として、本装置に接続するすべてのケーブル等に避雷針や雷防止タップなどの雷サージ対策を行ってください。

◆ 据え置き

付属の滑り止めゴム足を本装置の下部(4ヶ所)に取り付け、水平で安定した場所に設置してください。

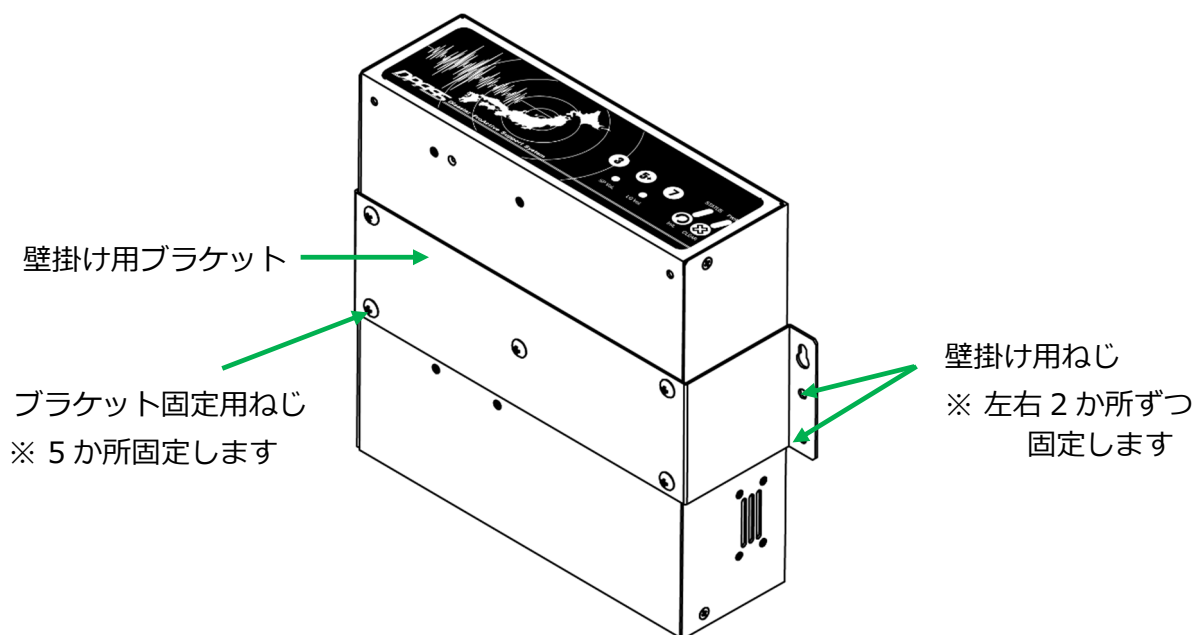
※本装置の上に物を置かないでください。

※放熱スペースを確保してください。(発熱する装置の近くに設置しないでください)

◆ 壁掛け

付属の壁掛け用ブラケットを使用して設置してください。

付属のブラケット固定用ねじで本装置にブラケットを固定し、任意の場所に付属の壁掛け用ねじで固定してください。

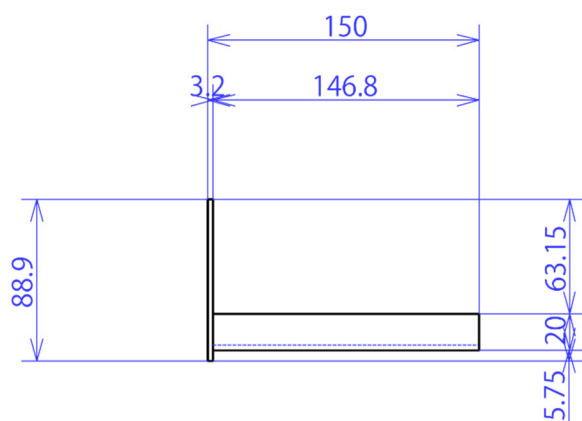
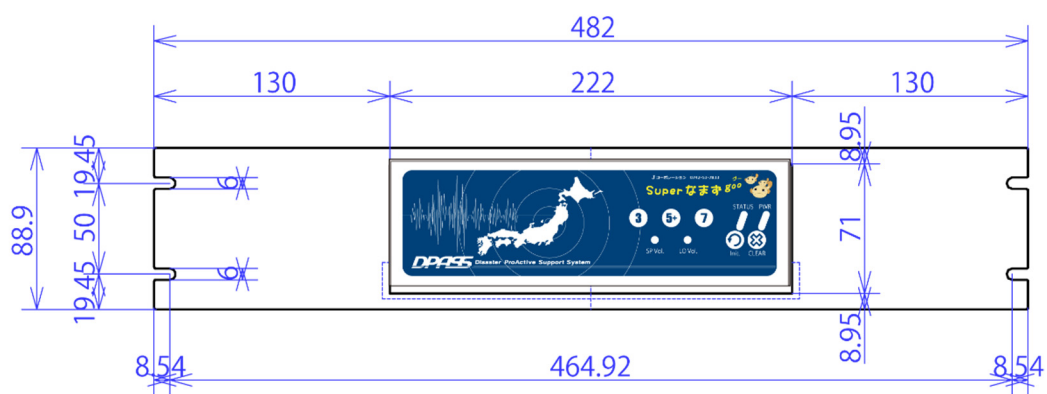
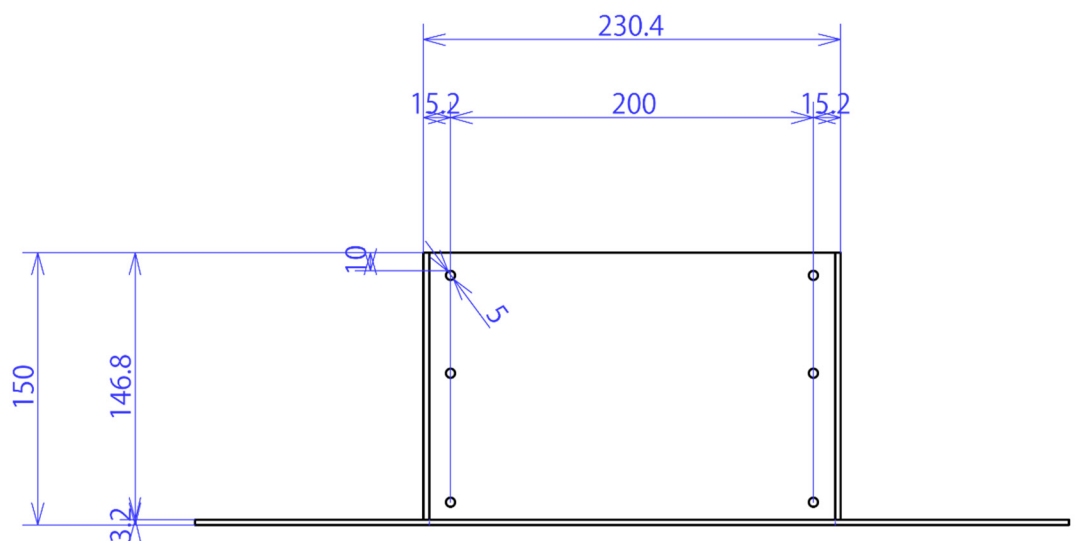


◆ 19 インチ放送ラックに収納

オプションのラックマウントを使用することで、19 インチ放送ラックに収納することができます。

本装置とラックマウントとの固定には、付属のブラケット固定用ねじを使用します。

ラックマウント寸法図



■ 本装置の起動

- お客様がご用意されたルーターまたはハブと本装置を、LAN ケーブルで接続します。
※電源を入れる前に、必ず LAN ケーブルを接続してください。
- 付属の AC アダプターを接続します。
- 電源が入り、電源ランプ（PWR：赤）と動作表示ランプ（STATUS：緑）が点滅します。
- サーバーとの接続が確立し正常に起動すると、電源ランプ（PWR：赤）と動作表示ランプ（STATUS：緑）が点灯に変わります。

正常に起動時のランプ状態

本装置	ランプ状態 / 動作説明	
起動 1 ↓	赤ランプ 点滅 緑ランプ 消灯	: 本装置の起動状況確認中 : 起動中
起動 2 ↓	赤ランプ 点滅 緑ランプ 点滅	: 本装置の起動状況確認中 : ネットワーク状況確認中
起動 3 ↓	赤ランプ 点灯 緑ランプ 点滅	: 本装置の起動確認完了、正常起動状態 : ネットワーク状況確認中
正常起動完了	赤ランプ 点灯 緑ランプ 点灯	: 本装置の起動確認完了、正常起動状態 : ネットワーク確認完了、正常起動状態

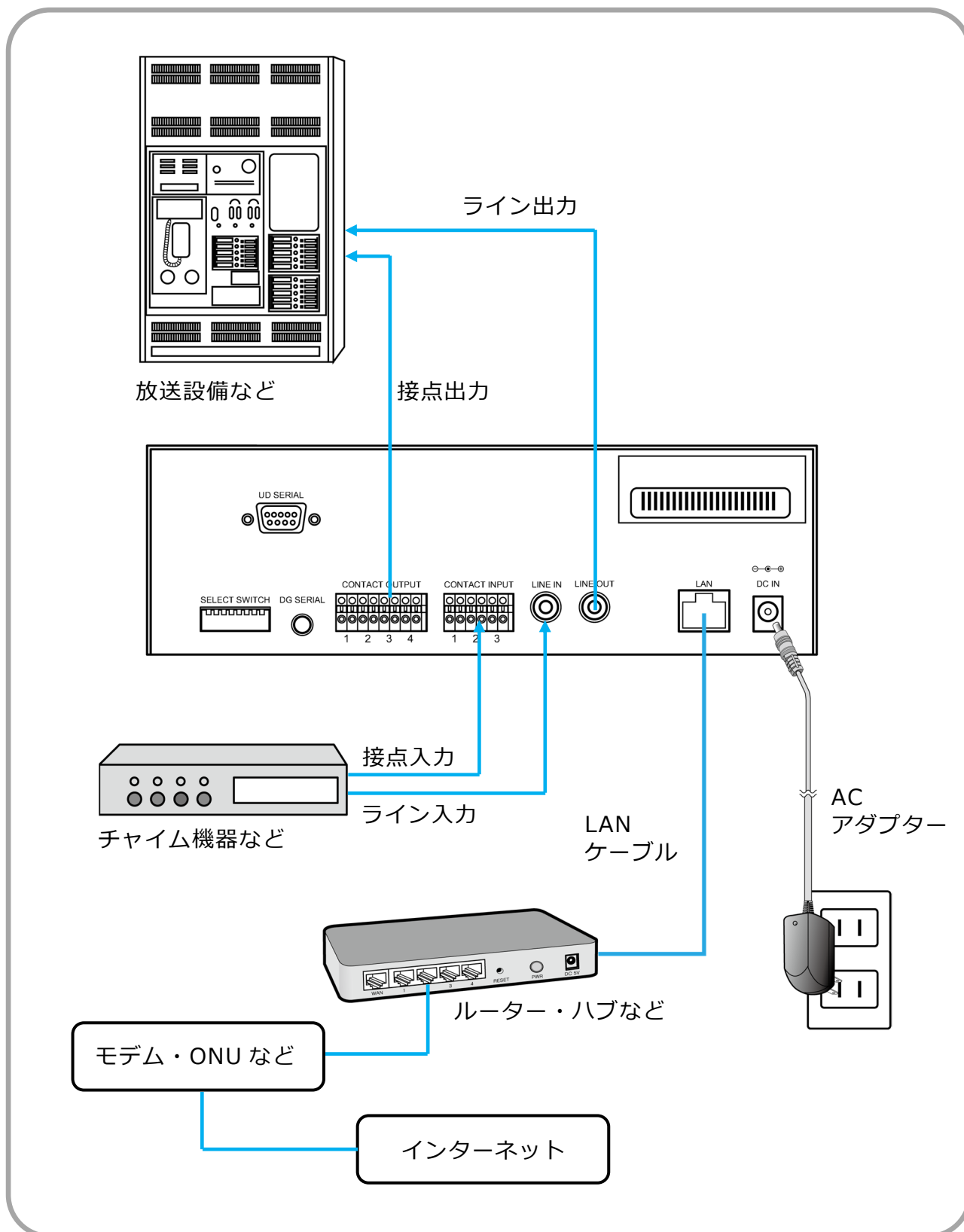
電源を入れてから 3 分以内に動作表示ランプ（STATUS：緑）が点灯に変わらない場合

本装置	ランプ状態 / 動作説明	
ネットワーク エラー	赤ランプ 点灯 緑ランプ 点滅 (1秒で2回点滅)	: 本装置の起動確認完了、正常起動状態 : ネットワーク異常確認…※1
	赤ランプ 点灯 緑ランプ 点滅 (1秒で3回点滅)	: 本装置の起動確認完了、正常起動状態 : ネットワーク確認完了、未登録端末のため 配信サーバーと接続不可…※2

※1 …お客様のネットワーク環境のチェックが必要となります。ルーターや LAN ケーブルなどのネットワーク機器の接続状態及び設定内容をご確認ください。

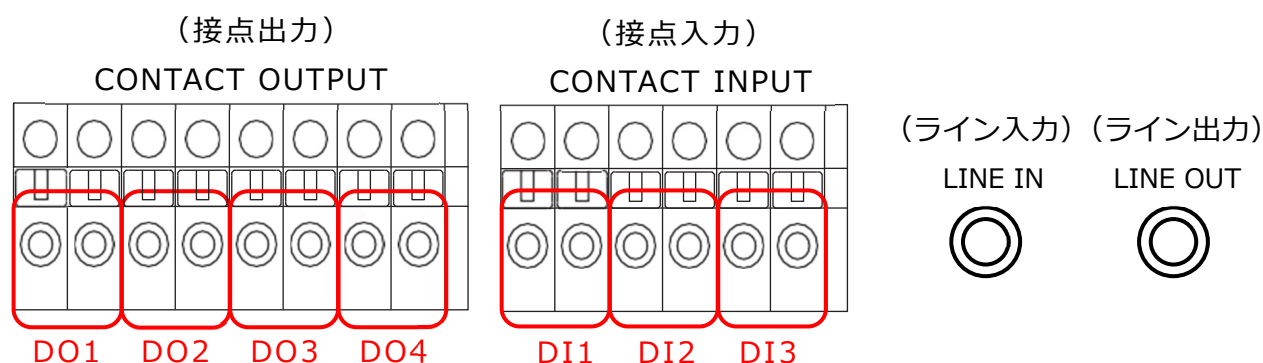
※2 …本装置の登録手続きが完了していません。本装置の登録手続きを行ってください。すでに登録手続きを済まされている場合は登録作業中ですので、あと 2～3 日お待ちください。
表示内容が上記と異なる場合は、誠に申し訳ございませんが、弊社までお問い合わせください。

■ 本装置と放送設備・外部機器との接続図



■ 外部接続端子

放送設備・外部機器などを接続する端子です。



※接点入力、接点出力の動作条件は、本体の操作で変更することはできません。変更をご希望の場合は弊社までお問い合わせください。

接点入力端子 (DI1、DI2、DI3)、接点出力端子 (DO1、DO2、DO3、DO4) は、スクリューレスプッシュ式です。接続の際には電線の被覆を剥いてそのまま挿入してください。最後まで入らない場合は、接続端子の上部にある端子ボタンを軽く押して挿入してください。

※無電圧ループ接点です。定格電圧(38V)を超える電圧は与えないでください。故障の原因となります。
※接続可能電線は、AWG26～20 の範囲でご使用ください。電線被覆剥きしろは、8～9mm です。

接点入力端子 DI1・DI2・DI3

外部機器からの制御信号を入力します。

接点出力端子 DO1・DO2・DO3・DO4

放送設備・外部機器などに制御信号を出力 (接点 ON) します。

ライン入力 LINE IN

外部機器からの音声信号を入力します。

※発報動作・動作確認・防災訓練などにより本装置が動作した場合は、外部機器からの入力信号は遮断されます。

ライン出力 LINE OUT

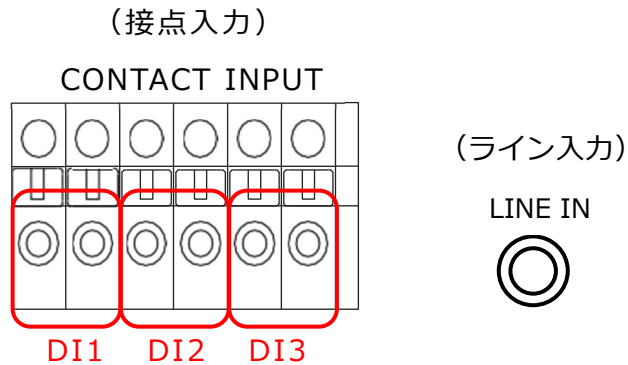
放送設備・外部機器などに音声信号を出力します。

■ 外部機器からの入力

震度計や外部機器との連動、放送設備の入力端子数に余裕がない場合に利用します。

外部機器からの入力信号を本装置に入力します。

本装置が発報動作に移行すると、外部機器からの入力信号は遮断されます。



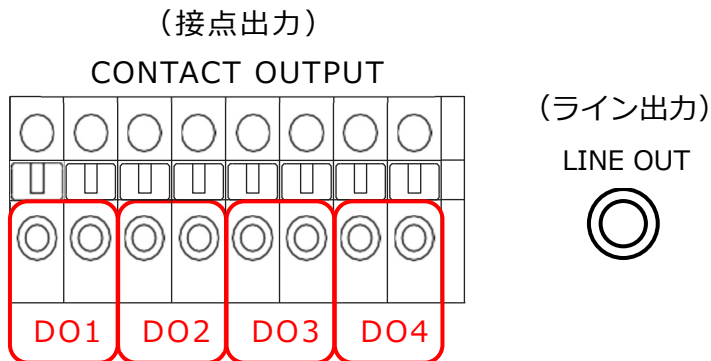
接点入力に外部機器からの入力信号があれば、設定された動作条件に応じて、接点出力及びライン出力に信号が送出されます。(P.34 参照)

※OPEN 時、3.6V～4.0V の電圧がでています。CLOSE 時は約 5mA の電流が流れます。接続回路の抵抗は 50Ω 以下に収まるようにしてください。

※発報動作・動作確認・防災訓練などにより本装置が動作した場合は、外部機器からの入力信号は遮断されます。

放送設備・外部機器と接続

放送設備・外部機器などに制御信号を出力（接点 ON）及び音声信号を出力します。



※DO 端子に誘導性負荷（モーターや機械式リレーなど）を直接接続する場合は、十分な逆起電力対策・サージ吸収対策を講じてください。

(接点抵抗値は、OPEN : 600M Ω 以上/CLOSE : 0.7 Ω 以下です。)

接点出力方式設定

ディップスイッチで、A 接点と B 接点、どちらを利用するかを設定することができます。(P8 参照)

地震の発報動作

設定した時間だけ遅延して制御信号が出力され、動作表示ランプ（STATUS：緑）が点滅します。設定した時間だけ遅延して予測震度と猶予時間、カウントダウンのアナウンスがラインに出力されます。カウントダウン終了後は、設定した避難誘導アナウンスがラインに出力されます。(P.26 参照) アナウンスが終了すると、動作表示ランプ（STATUS：緑）が点灯に変わります。

※カウントダウンが終了するまでは、発報を停止することはできません。カウントダウン終了後の避難誘導アナウンスが始まれば、本体の CLEAR ボタンの長押しで停止することができます。

※予測震度・猶予時間、カウントダウンは、アナウンスしない設定にすることもできます。(P.25 参照)

※地震情報を発報中に津波情報を受信した場合は、地震情報の発報終了後、津波情報が発報されます。

津波の発報動作

設定した時間だけ遅延して制御信号が出力され、動作表示ランプ（STATUS：緑）が点滅します。設定した時間だけ遅延して津波の発報アナウンスがラインに出力されます。(P.27 参照)

本体の CLEAR ボタンを長押しするか、気象庁から津波解除・津波取消が発表されると発報アナウンスを終了し、動作表示ランプ（STATUS：緑）が点灯に変わります。

※津波情報を発報中に緊急地震速報を受信した場合は、地震情報の発報動作に切り替わります。

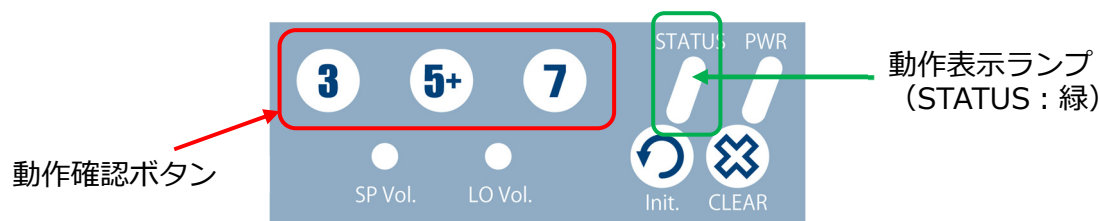
■ 内蔵スピーカー及びライン出力の音量を設定

本体の内蔵スピーカー及びライン出力の音量を設定します。

※制御信号が出力（接点 ON）され、動作確認テストのアナウンスがラインに出力されます。

1. 動作確認ボタン「3」は「震度 3」、「5+」は「震度 5 強」、「7」は「震度 7」で、動作確認テストのアナウンスが流れます。

「3」、「5+」、「7」のいずれかを、約 3 秒間長押しします。



2. 動作表示ランプ（STATUS：緑）が点滅します。

制御信号が出力（接点 ON）され、動作確認テストのアナウンスが内蔵スピーカーとラインから出力されます。（P.19 参照）

3. 内蔵スピーカーの音量は「SP Vol.」、ライン出力の音量は「LO Vol.」で設定します。



4. CLEAR ボタンを長押しするか、アナウンスが終了すると、制御信号を停止（接点 OFF）及び音声出力を停止し待機状態に戻ります。動作表示ランプ（STATUS：緑）は点灯に変わります。

※動作確認テスト中に地震情報・津波情報を受信した場合は、発報動作に切り替わります。

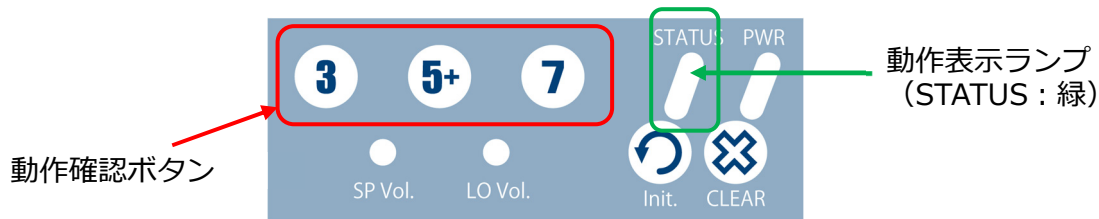
放送設備・外部機器の動作を確認

緊急地震速報の動作確認テストのアナウンスを利用し、放送設備・外部機器などの動作を確認します。

※制御信号が出力（接点 ON）され、動作確認テストのアナウンスがラインに出力されます。

1. 動作確認ボタン「3」は「震度 3」、「5 +」は「震度 5 強」、「7」は「震度 7」で、動作確認テストのアナウンスが流れます。

「3」、「5 +」、「7」のいずれかを、約 3 秒間長押しします。



2. 動作表示ランプ（STATUS：緑）が点滅します。

制御信号が出力（接点 ON）され、動作確認テストのアナウンスが内蔵スピーカーとラインから出力されます。

動作確認テストのアナウンスは、設定している発報アナウンスの内容で流れます。（P.24 参照）

例）冒頭警報音：「NHK チャイム音」 報知アナウンス形式：「詳細」を設定している場合

ボタン	アナウンス内容
3	♪オリジナル音♪ 動作確認テストです 震度 3 14 秒後 動作確認テストです 震度 3 8.7.6.5.4.3.2.1 避難誘導アナウンス・・・
5 +	♪NHK チャイム音♪ 動作確認テストです 震度 5 強 14 秒後 動作確認テストです 震度 5 強 8.7.6.5.4.3.2.1 避難誘導アナウンス・・・
7	♪NHK チャイム音♪ 動作確認テストです 震度 7 14 秒後 動作確認テストです 震度 7 8.7.6.5.4.3.2.1 避難誘導アナウンス・・・

3. CLEAR ボタンを長押しするか、アナウンスが終了すると、制御信号を停止（接点 OFF）及び音声出力を停止し待機状態に戻ります。動作表示ランプ（STATUS：緑）は点灯に変わります。

※動作確認テスト中に地震情報・津波情報を受信した場合は、発報動作に切り替わります。

本装置を有効的にご利用いただくために、日ごろの防災訓練をお勧めいたします。

■ 本体のボタン操作による地震の防災訓練

本体のボタン操作による動作確認テストを利用し、防災訓練を実施することができます。

予測震度は「3」、「5 強」、「7」から選択することができます。

（操作方法、アナウンス内容は P.19 参照）

■ サーバー配信による地震・津波の防災訓練

弊社にご依頼いただきましたら、緊急地震速報、津波警報をサーバーから配信し、防災訓練を実施することができます。

実施をご希望の場合は、弊社までお問い合わせください。

地震防災訓練

ご希望の予測震度（震度 1～7）、猶予時間（約 10 秒～40 秒/5 秒単位）で緊急地震速報をサーバーから配信し、防災訓練を実施することができます。

発報アナウンスは、設定している内容で流れます。（P.24 参照）

開始音声は、「地震」と「配信テストです」のどちらかを選択することができます。

※発報アナウンスを途中で止める場合は、サーバーからキャンセル報を配信するか、カウントダウン終了後は本体の CLEAR ボタンで停止することができます。

津波防災訓練

ご希望の津波情報レベル（津波警報・大津波警報・津波注意報）で津波警報をサーバーから配信し、防災訓練を実施することができます。

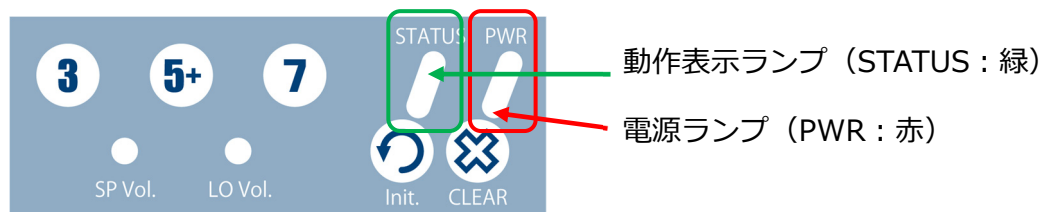
津波の発報アナウンスは固定です。（P.27 参照）

※発報アナウンスを止める場合は、本体の CLEAR ボタンを長押しするか、サーバーから津波解除・津波取消を配信することで停止することができます。

安全にご利用いただくために、定期点検をお勧めいたします。

■ ランプの状態を確認

電源ランプ（PWR：赤）、動作表示ランプ（STATUS：緑）が点灯していれば正常に動作しています。



・電源ランプ（PWR：赤）

消灯している場合は、電源が入っていない状態です。A Cアダプターなどを確認してください。
点滅している場合は、本装置に障害がある可能性があります。恐れ入りますが弊社までお問い合わせください。

・動作表示ランプ（STATUS：緑）

点滅または消灯している場合は、正しくインターネット通信が行われていない状態です。
ルーターや LAN ケーブルなどのネットワーク機器の接続状態及び設定内容をご確認ください。

■ 放送設備・外部機器の動作を確認

本体のボタン操作による動作確認テストを利用し、放送設備・外部機器などの動作を確認してください。

※制御信号が出力（接点 ON）され、動作確認テストのアナウンスがラインに出力されます。

（操作方法は P.19 参照）

ご利用状況に合わせて、地震・津波情報を受信したときの本装置の動作を設定することができます。

弊社で初期設定をして出荷いたします。本体の操作で設定変更することはできませんので、変更をご希望の場合は弊社までお問い合わせください。

■ 地震に関する設定

◆ 本装置の設定震度

緊急地震速報を受信した際に、本体の内蔵スピーカーから発報アナウンスを流す条件となる震度を設定することができます。接点を出力する震度とは異なります。（P.30 参照）

「震度 1～4、5 弱、5 強、6 弱、6 強、7」から設定し、予測震度が設定震度以上となる緊急地震速報を受信した場合に、内蔵スピーカーから発報アナウンスが流れます。

◆ 緊急地震速報の精度

気象庁から配信される緊急地震速報は、いくつかの地震観測点からの情報を元に発表されたかが分かるようになっています。

「観測点 1 点以上」で発報するか、「観測点 2 点以上」で発報するか選択することができます。

地震観測点 1 点以上	観測点の点数にかかわらず、気象庁から配信された電文をすべて演算し、発報動作を行います。いち早く地震をお知らせすることができます。
地震観測点 2 点以上	気象庁から配信された電文の中から2点以上の観測点情報が確認された電文を演算し、発報動作を行います。落雷等による誤報を発報する可能性が低くなり、予測震度と猶予時間の精度が高くなります。 ただし、1 点以上から発報する場合より、お知らせが遅くなります。

◆ 訓練報

気象庁は毎年、「11 月 5 日 津波防災の日」前後に緊急地震速報の訓練報の配信を実施しています。

訓練報は、外部機器の動作確認や、避難訓練としてご利用いただけます。

訓練報を「受信する」、「受信しない」を選択することができます。

◆ キャンセル報

気象庁が緊急地震速報を配信した後に誤報と判明した場合に、気象庁が配信する発報取り消しの電文をキャンセル報といいます。誤報を受信して本装置が発報動作に移行した場合、キャンセル報を受信すると直ちに発報動作を停止します。

キャンセル報を「受信する」、「受信しない」を選択することができます。

◆深発地震

震源の深さが 150km より深い場所で発生した地震（深発地震）は、予測震度と猶予時間に大きな誤差を含む可能性が高くなります。

過去深発地震の最大震度は 4 程度であり大きな被害にならないとされていますが、地震が発生した事には変わりなく、お客様により判断が分かれるところです。

深発地震を「受信する」、「受信しない」を選択することができます。

◆通過地震

震源地からの距離や地震の規模などにより、緊急地震速報が発報されたときには、すでに揺れている場合があります。このように、揺れ始めるまでの猶予時間がマイナスになる地震（揺れる前に本装置が発報できない地震）を通過地震といいます。

通過地震を「受信する」、「受信しない」を選択することができます。

通過地震を受信する	猶予時間がマイナス10秒までの地震に対して発報動作を行います。 「地震震度〇…」とアナウンスします。 マイナス10秒を超える通過地震は、受信設定にかかわらず受信しません。
通過地震を受信しない	通過地震の発報動作は行いません。猶予時間が「プラス1秒」以上の地震にのみ発報動作を行います。

◆地震警報（長周期地震動含む（※1））

地震警報（緊急地震速報（警報））は、「震度 5 弱以上または長周期地震動階級 3 以上」が予想された場合に、「震度 4 以上または長周期地震動階級 3 以上」が予想される地域名がある区域（※2）に対して発表されます。

地震警報を受信すると、本装置の設定震度（P.22 参照）、接点出力震度（P.30 参照）にかかわらず発報、および接点出力されます。

地震警報を「受信する」、「受信しない」を選択することができます。

※1…長周期地震動とは、大きな地震で生じる、周期（揺れが 1 往復するのにかかる時間）が長い大きな揺れのことを長周期地震動といいます。長周期地震動階級 3 以上を予想した場合、緊急地震速報（警報）を発表します。

<長周期地震動階級 3> 非常に大きな揺れ

人の体感・行動 ……立っていることが困難になる。

室内の状況 ……キャスター付き什器が大きく動く。固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある。

備考 ……間仕切壁などにひび割れ・亀裂が入ることがある。

※その他の階級は、気象庁ホームページを参照してください。

※2…区域とは、気象庁が全国を約 200 地域に区分した地域のことです。同じ区域内であっても、予測震度 4 の地域もあれば、予測震度 2 の地域もある場合があります。

例）本装置の設定震度は 4、DO1 は出力震度 5 弱で放送設備を制御する設定で、本装置の設置場所の区域に地震警報が発表された場合

本装置の設置場所の予測震度が 2 であっても、本体の内蔵スピーカーから発報アナウンスが流れ、接点出力 DO1 からは制御信号を出力（接点 ON）し、放送設備を自動起動させます。

地震の発報アナウンス

緊急地震速報を受信した時に発報する音声内容を設定することができます。

発報アナウンスは「冒頭アナウンス(a.b.c.)」と「避難誘導アナウンス」の組み合わせになります。

冒頭アナウンスは緊急地震速報を発報してからカウントダウンが終了するまで、避難誘導アナウンスはカウントダウンが終了してから流れます。

発報アナウンス例			
発報アナウンス	冒頭アナウンス	a.冒頭警報音	♪チャイム音♪
		b.開始音声	地震
		c.報知アナウンス	震度 4 12 秒後
		カウントダウン	10.9.8.7.6.5.4.3.2.1
	避難誘導アナウンス	揺れが収まるまで身を守ってください むやみに移動すると危険です 指示が出るまで、そのまま待機してください	

カウントダウンが始まるまで
予測震度・猶予時間を繰り返します

設定した回数
繰り返します

◆冒頭アナウンス

カウントダウンが終了するまで流れるアナウンスです。

a.冒頭警報音、b.開始音声、c.報知アナウンス・カウントダウンを、設定した内容でアナウンスします。

a.冒頭警報音

発報アナウンスの冒頭に鳴るチャイム音を「NHK チャイム音」「REIC 音」から選択します。

冒頭にチャイム音を鳴らし注意喚起を行うことで、後に続くアナウンスに注力する効果が期待できます。鳴らない設定にすることも可能です。

無音	冒頭警報音は鳴りません。
NHK チャイム音	NHK が採用している緊急地震速報（警報）のチャイム音が鳴ります。ただし、NHK チャイム音は震度 5 弱以上の地震が発生した場合にのみ鳴るため、NHK チャイム音を選択しても、震度 1～4 まではオリジナルチャイム音が鳴ります。
REIC 音	予測震度・猶予時間にかかわらず同一音が鳴ります。

b.開始音声

開始音声は、発報する情報により音声内容が異なります。変更することはできません。

発報情報	開始音声
本震	「地震」
本震（地震警報発令時）	「地震警報」
気象庁訓練報	「配信テストです」
動作確認テスト	「動作確認テストです」
サーバー配信テスト	「地震」または「配信テストです」の選択が可能

c. 報知アナウンス

報知アナウンスの形式を「詳細」「曖昧 1」「曖昧 2」から選択します。

- ・「詳細」：（開始音声 + 予測震度・猶予時間 + カウントダウン）

例）「地震 震度 4 25 秒後 地震 震度 4 16 秒後 10.9.8.7.6.5.4.3.2.1」

予測震度	気象庁の震度階級（震度 1 から震度 7）でアナウンス
予測猶予時間	最大 50 秒からアナウンス
カウントダウン	10 秒以下からカウントダウン

- ・「曖昧 1」：（開始音声 + あいまい表現 1 + カウントダウン）

予測震度・猶予時間は、あいまい表現 1 に置き換えられます。

例）「地震 物が倒れるぐらいの揺れが すぐに来ます 10.9.8.7.6.5.4.3.2.1」

あいまい表現 1		
予測震度	震度 1～3	「小さな揺れが」
	震度 4～5 強	「物が倒れるぐらいの揺れが」
	震度 6 弱～7	「命にかかわるほどの揺れが」
予測猶予時間	0～19 秒	「すぐに来ます」
	20～29 秒	「まもなく来ます」
	30 秒以上	「もうまもなく来ます」
カウントダウン	10 秒からカウントダウン	

- ・「曖昧 2」：（開始音声 + あいまい表現 2 + オリジナル警告音）

予測猶予時間はあいまい表現 2 に、予測震度はオリジナル警告音に置き換えられます。

カウントダウンはアナウンスしません。

例）「地震 まもなく来ます ビ・ビ 地震 すぐに来ます ビ・ビ …」

あいまい表現 2		
予測猶予時間	0～19 秒	「すぐに来ます」
	20～29 秒	「まもなく来ます」
	30 秒以上	「もうまもなく来ます」
オリジナル警告音		
予測震度	震度 1～3	「ビ」
	震度 4～5 強	「ビ・ビ」
	震度 6 弱～7	「ビ・ビ・ビ」
カウントダウン	アナウンスなし	

◆避難誘導アナウンス

カウントダウンが終了してから流れるアナウンスです。

表の4 3種類の中から3種類まで組み合わせることが可能で、ご利用環境に合わせた内容でアナウンスすることができます。避難誘導アナウンスの繰り返し回数は、1～10回から設定します。

例) 7 + 12 + 13 を組み合わせた場合

「揺れが収まるまで身を守ってください。落ち着いてください。むやみに移動すると危険です。」
を、設定した回数繰り返します。

0	(無音)	22	周りを確認してください。
1	安全が確認されるまで外には出ないでください。	23	ガスの元栓を閉めてください。
2	安全な姿勢で身構えてください。	24	倒れやすい家具などから離れてください。
3	安全に備えてください。	25	落下物に注意してください。
4	安全確認のため、皆様に一旦この場所から外へご退場いただきます。	26	上から落ちてくる物、倒れてくる物から身を守ってください。
5	身の安全を確保してください。	27	大変危険です。
6	揺れが収まるまで安全な場所にいてください。	28	海岸沿いから離れてください。
7	揺れが収まるまで身を守ってください。	29	震源が海底・海岸沿いの場合、津波が発生する可能性があります。
8	揺れが収まってから火の始末をしてください。	30	皆様の安全に問題はありません。
9	揺れが来るまで、わずかな時間しかありません。	31	皆様のご理解、ご協力に感謝いたします。
10	強い揺れに警戒してください。	32	本日、催しを中止せざるを得ない事態となり、誠に申し訳ございません。深くお詫び申し上げます。
11	強い揺れに備えてください。	33	指示が出るまで、そのまま待機してください。
12	落ち着いてください。	34	係員の誘導に従って、ゆっくりとご退場お願いいたします。
13	むやみに移動すると危険です。	35	前の人を押したりしないでください。
14	お座りになってお待ちください。	36	地盤が緩んでいる場所では、土砂災害に注意してください。
15	机の下に隠れて身を守ってください。	37	地滑り、土砂災害に注意してください。
16	テーブルや机の下に隠れてください。	38	がけ崩れに注意してください。
17	窓やドアを開け、避難経路を確保してください。	39	テレビやラジオの電源を入れ、災害情報を確認してください。
18	避難経路を確保してください。	40	テレビ・ラジオから最新の情報を入手してください。
19	指定の避難場所に避難してください。	41	気象庁ホームページから最新の情報を入手してください。
20	火の元の確認をしてください。	42	走らないでください。
21	倒れやすい物に近づかないでください。	43	余震に十分注意してください。

津波に関する設定

◆受信設定

津波情報を受信する、受信しないを選択することができます。

受信する津波レベルは、津波注意報以上、津波警報以上、大津波警報以上から選択します。

接点出力するか、しないかは、接点出力端子ごとに設定することができます。(P.30 参照)

- 受信しない : 津波情報に対して本装置は発報動作しません。
- 津波注意報以上発報 : 津波注意報・津波警報・大津波警報を受信して発報
- 津波警報以上発報 : 津波警報・大津波警報を受信して発報
- 大津波警報のみ発報 : 大津波警報を受信して発報

※津波予報は受信しません。

津波注意報	予想される津波の高さが高いところで0.2m以上、1m以下の 場合であって、津波による災害の恐れがある場合
津波警報	予想される津波の高さが1m超え、3m以下の場合
大津波警報	予想される津波の高さが高いところで3mを超える場合

※津波情報を発報中に緊急地震速報を受信した場合は、地震情報の発報動作に切り替わります。

◆受信地域の設定

気象庁が定めた津波エリア予報区から、受信するエリアを選択します。(P.28 参照)

本装置の設置場所に一番近い海岸沿いを設定してください。

津波の発報アナウンス

発報アナウンスは本体の CLEAR ボタンを長押しするか、気象庁から津波解除・津波取消が発表されるまでアナウンスを続けます。アナウンス内容は変更できません。

津波注意報	「津波注意報発令 + 指定の避難場所に避難してください。」 「津波注意報発令 + 海岸沿いから離れてください。」
津波警報	「津波警報発令 + 指定の避難場所に避難してください。」 「津波警報発令 + 海岸沿いから離れてください。」
大津波警報	「大津波警報発令 + 指定の避難場所に避難してください。」 「大津波警報発令 + 海岸沿いから離れてください。」
津波解除	発令・発表を解除します。
津波取消	取り消します。先の発令・発表は誤報です。

◆津波エリア予報区地図・コード一覧

気象庁では津波の影響を受ける地域を予報区として区分けしています。

①予報区地図



※津波情報気象庁ホームページ参照

- 津波警報・注意報、津波情報、津波予報について説明
<https://www.data.jma.go.jp/svd/eqev/data/joho/tsunamiinfo.html>
- 津波警報の発表と解除について
<https://www.data.jma.go.jp/svd/eqev/data/tsunami/issuance.html>
- 津波警報・注意報などの発表区域
<https://www.data.jma.go.jp/svd/eqev/data/joho/t-yohokuinfo.html>

②津波エリア予報区コード一覧

地図 番号	予報区		地図 番号	予報区	
	コード	地域名		コード	地域名
1	120	オホーツク海沿岸	34	521	兵庫県瀬戸内海沿岸
2	100	北海道太平洋沿岸東部	35	522	淡路島南部
3	101	北海道太平洋沿岸中部	36	510	大阪府
4	102	北海道太平洋沿岸西部	37	530	和歌山県
5	110	北海道日本海沿岸北部	38	540	鳥取県
6	111	北海道日本海沿岸南部	39	550	島根県出雲・石見
7	202	陸奥湾	40	551	隠岐
8	200	青森県日本海沿岸	41	560	岡山県
9	201	青森県太平洋沿岸	42	570	広島県
10	210	岩手県	43	590	香川県
11	220	宮城県	44	601	愛媛県瀬戸内海沿岸
12	250	福島県	45	600	愛媛県宇和海沿岸
13	230	秋田県	46	580	徳島県
14	240	山形県	47	610	高知県
15	300	茨城県	48	701	山口県瀬戸内海沿岸
16	310	千葉県九十九里・外房	49	700	山口県日本海沿岸
17	311	千葉県内房	50	710	福岡県瀬戸内海沿岸
18	312	東京湾内湾	51	711	福岡県日本海沿岸
19	320	伊豆諸島	52	720	佐賀県北部
20	321	小笠原諸島	53	730	長崎県西方
21	330	相模湾・三浦半島	54	731	壱岐・対馬
22	380	静岡県	55	712	有明・八代海
23	390	愛知県外海	56	740	熊本県天草灘沿岸
24	391	伊勢・三河湾	57	750	大分県瀬戸内海沿岸
25	400	三重県南部	58	751	大分県豊後水道沿岸
26	341	佐渡	59	760	宮崎県
27	340	新潟県上中下越	60	770	鹿児島県東部
28	350	富山県	61	773	鹿児島県西部
29	360	石川県能登	62	771	種子島・屋久島地方
30	361	石川県加賀	63	772	奄美諸島・トカラ列島
31	370	福井県	64	800	沖縄本島地方
32	500	京都府	65	802	宮古島・八重山地方
33	520	兵庫県北部	66	801	大東島地方

出力設定

制御信号を出力する情報、出力を開始するタイミング、音声出力ディレー時間、接点出力ディレー時間、出力時間などを設定します。

接点出力端子（DO1、DO2、DO3、DO4）は、個別に異なる動作条件を設定することができます。

◆出力情報

出力する情報は、①地震情報 ②津波情報 ③入力信号 から選択します。

①②③を複数選択した場合は、緊急地震速報に関する出力が最優先されます。地震情報を発報中に津波情報を受信した場合は、地震情報の発報終了後、津波情報が発報されます。

①地震情報

接点出力端子（DO1、DO2、DO3、DO4）から地震情報を出力する、出力しないを設定します。キャンセル報のみ出力することも可能です。

接点を出力する震度は、本装置の設定震度（P.22 参照）とは別に「震度 1～4、5 弱、5 強、6 弱、6 強、7」から設定することができ、予測震度が設定した震度以上の地震のみ接点を出力します。

活用例：本装置の設定震度は 3、DO1 は出力震度 5 弱で放送設備を制御
DO2 は出力震度 4 でエレベーターを制御する場合

①予測震度 3 の地震を受信した場合

- ・ 本体（震度 3）：内蔵スピーカーから発報アナウンスが流れます。
- ・ 接点出力 DO1（震度 5 弱）：制御信号は出力されず、放送設備は起動しません。
- ・ 接点出力 DO2（震度 4）：制御信号は出力されず、エレベーターは通常運転をしています。

②予測震度 4 の地震を受信した場合

- ・ 本体（震度 3）：内蔵スピーカーから発報アナウンスが流れます。
- ・ 接点出力 DO1（震度 5 弱）：制御信号は出力されず、放送設備は起動しません。
- ・ 接点出力 DO2（震度 4）：制御信号を出力（接点 ON）し、エレベーターを最寄りの階で停止させます。

③予測震度 5 弱以上の地震を受信した場合

- ・ 本体（震度 3）の内蔵スピーカーから発報アナウンスが流れます。
- ・ 接点出力 DO1（震度 5 弱）：制御信号を出力（接点 ON）し、放送設備を自動起動させます。
- ・ 接点出力 DO2（震度 4）：制御信号を出力（接点 ON）し、エレベーターを最寄りの階で停止させます。

②津波情報

津波情報を出力する、出力しないを設定します。出力する場合の津波レベルは、受信設定で選択した津波レベルが適用されます。（P.27 参照）津波解除・津波取消のみ出力することも可能です。

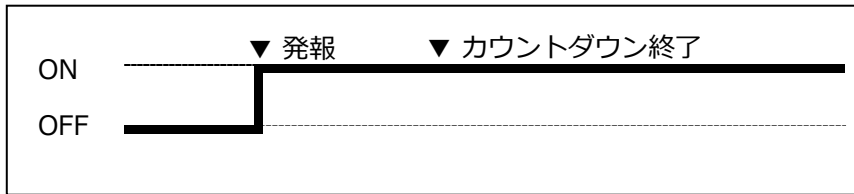
③入力信号

接点入力端子（DI1、DI2、DI3）から制御信号が入力されたときに、接点を出力する、出力しないを設定します。（P.34 参照）

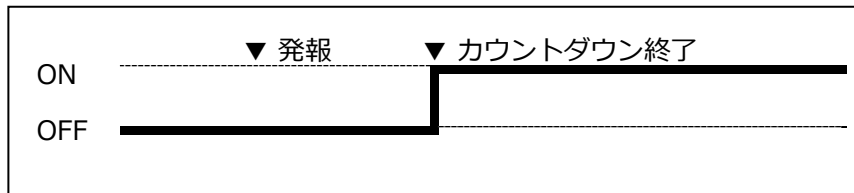
◆接点出力開始のタイミング

接点出力を開始するタイミングを「発報時に出力」「カウントダウン終了後に出力」から選択します。

●発報時に接点出力を設定した場合



●カウントダウン終了後に接点出力を設定した場合

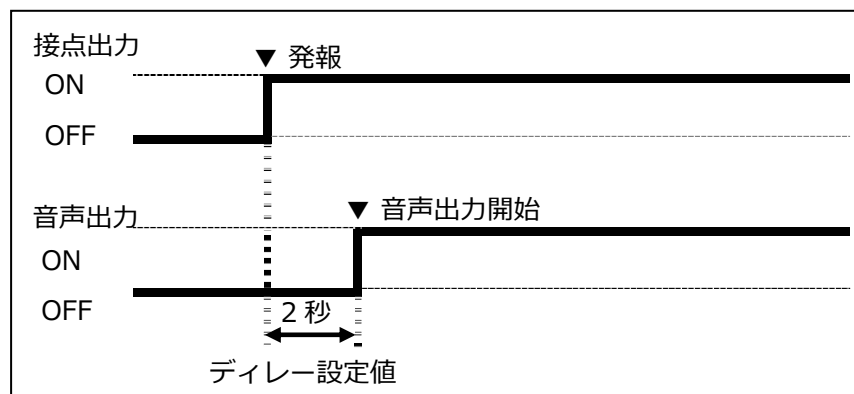


◆音声出力のディレー時間

接続する放送設備の起動時間に合わせて、音声出力を開始するタイミングを遅らせたい場合に設定します。音声出力のディレー時間は1～10秒までの間で設定が可能です。

※本体の内蔵スピーカーからの音声も、設定した時間だけ遅延します。

●音声出力ディレー2秒を設定した場合



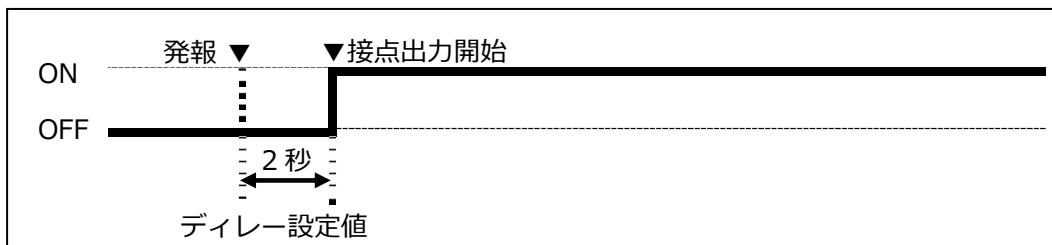
◆接点出力のディレー時間

発報のタイミングに対して、接点出力を開始するタイミングを遅らせたい場合に設定します。

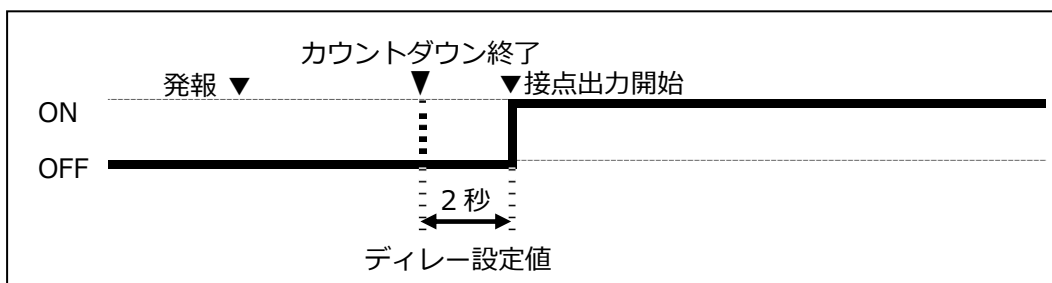
接点出力ディレー時間は 1 0 0 ミリ秒～1 0 秒の間で設定が可能です。

例) ディレー2 秒を設定した場合、発報またはカウントダウン終了後の 2 秒後から接点出力が開始されます。

●発報時に接点出力を設定した場合



●カウントダウン終了後に接点出力を設定した場合



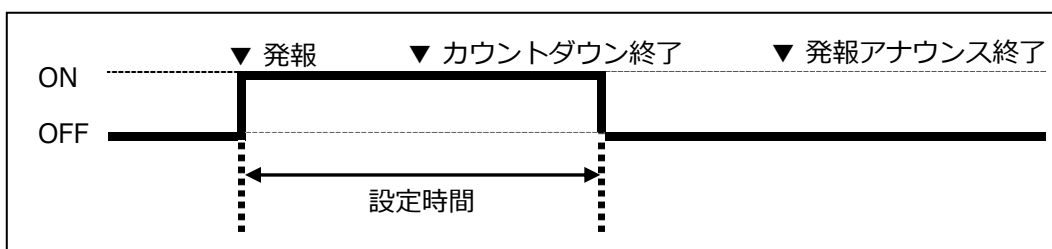
◆接点出力の出力時間

接点の出力時間は「① 1 0 0 ミリ秒～3 0 0 秒」、「②連続」、「③AF 連動」から選択します。

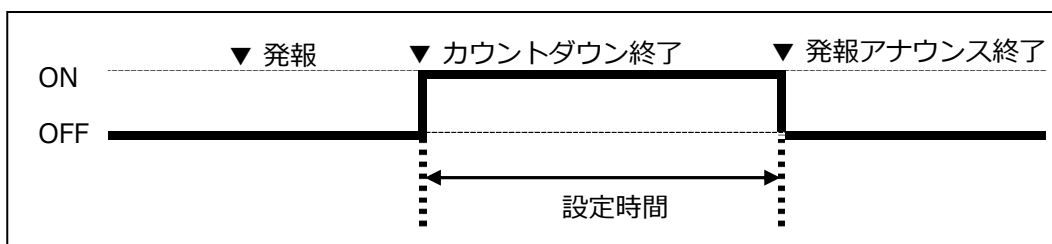
①「1 0 0 ミリ秒～3 0 0 秒」で設定

設定した時間だけ出力します。

●発報時に接点出力を設定した場合（ディレー設定がない場合）



●カウントダウン終了後を接点出力に設定した場合（ディレー設定がない場合）

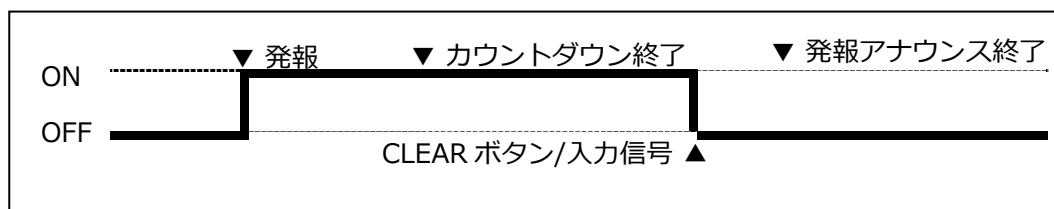


②「連続」で設定

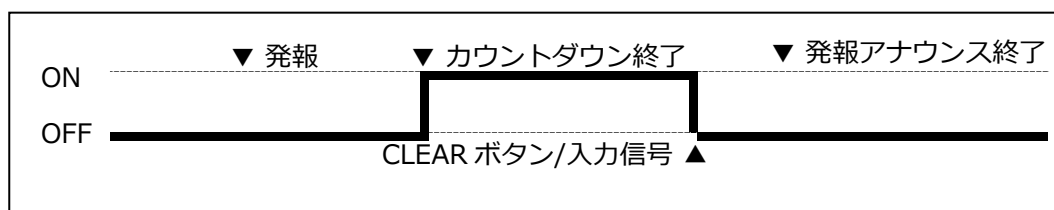
キャンセル報を受信、もしくは本装置の動作を止める設定の入力信号（P.34 参照）、本体の CLEAR ボタンの長押しがない限り、接点出力を続けます。

※カウントダウンが終了するまでは、CLEAR ボタンを長押ししても停止することはできません。

●発報時に接点出力を設定した場合（ディレー設定がない場合）



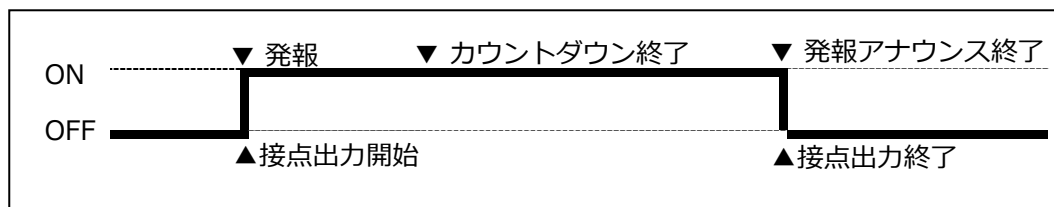
●カウントダウン終了後に接点出力を設定した場合（ディレー設定がない場合）



③「AF 連動」

発報アナウンスの終了と同時に、接点出力も終了します。

●発報時に接点出力を設定した場合（ディレー設定がない場合）



※「AF 連動」の場合、「カウントダウン終了後に接点出力」は設定はできません。

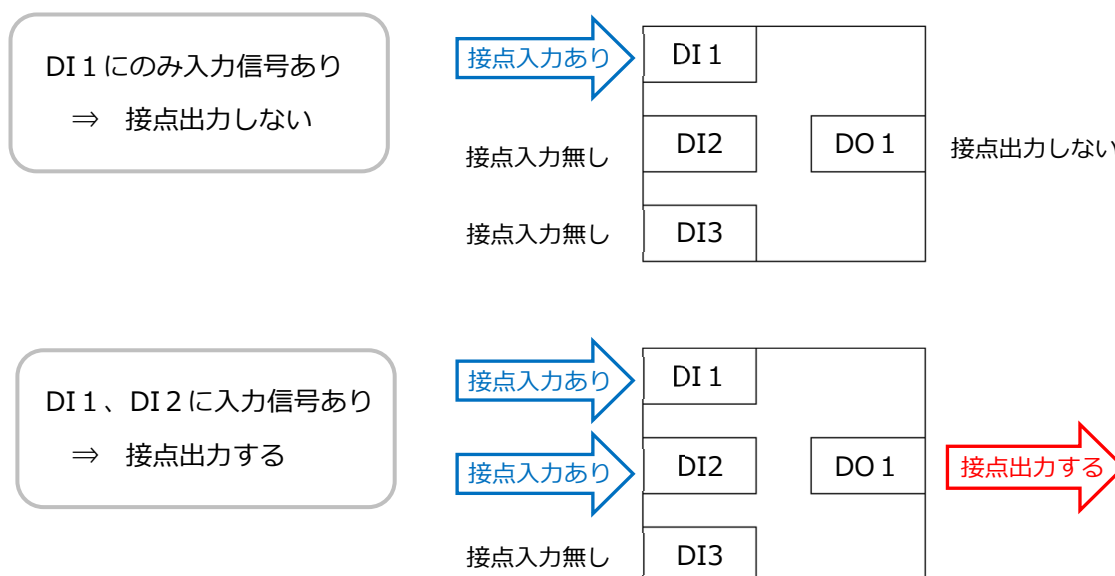
■ 入力設定

外部機器から制御信号が入力されたときの動作を設定することができます。

◆接点出力と連動

接点入力端子（DI1、DI2、DI3）から制御信号が入力されたときに、接点出力端子（DO1、DO2、DO3、DO4）から接点を出力する、出力しないを設定します。出力する場合は、3チャンネルある接点入力端子（DI1、DI2、DI3）のうち、何チャンネル以上から入力があれば接点出力するかを選択できます。

例) 接点入力 2 点以上から入力があれば DO1 から出力



◆入力信号で本装置の動作を止める

入力信号があったときに、本装置が動作中であれば動作を終了し、接点出力中であれば接点出力を停止することができます。

接点入力端子（DI1、DI2、DI3）の、どの端子からの入力信号を利用するか選択することができます。

■ トラブルシューティング

電源を入れてもPOWERランプが消灯のままです。	本装置付属のACアダプターかお確かめください。 ※変圧機などを使用している場合、その機器の仕様をもう一度お確かめください。
STATUSランプが点滅のままです。	本装置はお客様のご使用のネットワーク環境からプロバイダーの通信回線を経由して弊社のサーバーへ接続されます。時により回線状況に不具合が生じる事で動作表示ランプ（STATUS：緑）が点滅になるとことがあります。 1. 電源を入れ直してその変化をお確かめください。 2. LANケーブルが正しく接続されているかお確かめください。 3. ハブ、ルーター、インターネットプロバイダーの設定をお確かめください。 4. ご使用のネットワーク機器（ルーター、ハブ）の電源を入れ直してください。 5. ルーターセキュリティ設定のTCP「9001」「9003」ポートの制限を許可してください。 6. ルーターのDHCP設定が有効になっているかお確かめください。 7. PCやネットワーク機器が本装置と同じIPアドレスを使用していないかお確かめください。 8. 導入時に設定した固定IPアドレスが変更されていないかお確かめください。 ※回線業者（プロバイダー）からのメンテナンスなど回線障害があった場合、ルーターの再起動が必要なケースもあります。
ボタンの操作ができません。	1. 電源ランプ（PWR：赤）が点灯しているかお確かめください。 2. 電源ランプ（PWR：赤）が点滅の場合、電源を入れ直してください。 3. 状態が改善されない場合、ご購入の代理店にお問い合わせください。
その他	その他の疑問点や本装置の不具合がありましたらご購入された販売店または弊社にお問い合わせください。 ※お問い合わせの際には必ず、お客様が使用している本装置の識別ID（QAKから始まる10桁の英数字）をお伝えください。 （本体裏面のバーコードラベルにも記載されています。）
修理の受付	本装置の不具合等による交換を希望の方は、ご連絡いただく前に、設置方法や設定等が正しいか再度ご確認ください。正しく設置や設定を行っているにもかかわらず不具合が改善されない場合は、ご購入された販売店または弊社までご連絡ください。 ●保証期間中の場合 保証書の記載に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証規定をお読みください。 ●保証期間後の場合 ご要望により有料で対応させていただきます。

仕様書

スーパーなまずgoo 本体 《DN-SH500J》		
名 称	スーパーなまずgoo	
型 番	DN-SH500J	
本 体 外 形 寸 法	幅220mm×高さ69.2mm×奥行220mm（突起部除く）	
重 量	1.9kg	
電 源 電 圧	DC12V／ACアダプター使用（出力：DC12V／800mA）	
消 費 電 力	待受1.0W最大1.2W	
温 湿 度 条 件	操作時0～40℃／非動作時－10～60℃／湿度10～80%RH（結露なきこと）	
電 文 受 信 方 式	IPv4インターネット常時接続環境でのTCP/IP方式	
出 力	外部制御出力 (DO 1/2/3/4)	無電圧ループ接点出力（A接点，B接点設定可能） 定格電圧：38V／最大ピーク電圧：60V 定格電流：1000mA／最大ピーク電流：1000mA
	内蔵音声出力 (SPEAKER)	2W
	外部音声出力 (LINE OUT)	RCA-MONO、出力電圧(最大):2.5Vp-p(+4.2dBs)、 出力インピーダンス:10KΩ不平衡
	信号出力 (DEBUG)	TTLレベル
入 力	電源 (POWER)	AC100V (50/60Hz)／DC12V-800mA
	外部音声入力 (LINE IN)	RCA-MONO、入力電圧(最大):1.2Vp-p、入力インピーダンス:33KΩ不平衡
	ネットワーク (RJ-45)	10/100Base-T 配信サーバーとの通信ポート：9001
	外部接点入力 (DI 1/2/3)	電圧ループ接点出力に対応。出力電圧：5V、出力電流：5mA
機 能	発報震度レベル設定	気象庁震度階級1～7の間で設定※接点出力（DO）に限りキャンセル報
	発報表現設定	詳細／曖昧1（カウントダウン有）／曖昧2（カウントダウン無）
	端末動作確認テスト	震度レベル3段階（3／5強／7／猶予時間20秒固定）
	避難誘導アナウンス設定機能	地震発報後、避難誘導音声の設定可能
	津波注意報・警報受信機能	津波注意報・警報受信可否設定が可能
	LINE OUTディレー機能	無し／1秒～10秒選択
	外部出力 （接点出力） 設定機能	出力のディレー／出力時間／出力方式設定が可能 ディレー：無し／100ms～900ms／1秒～10秒 出力時間：無し／100ms～900ms／1秒～60秒 出力時間：120秒／180秒／240秒／300秒／連続／AF連動 出力方式：発報時出力／発報後出力
表 示 ／ 操 作 音	音声スルー機能	LINE IN音声そのままLINE OUTへスルーパスする機能 緊急地震速報が発生した場合、LINE IN音声を遮断しLINE OUTから発報動作を行い、発報が終了するとLINE IN音声の出力を再開する機能
	赤LED (POWER)	電源供給状態、及びハードウェア接続状態の確認
	緑LED (STATUS)	ネットワーク接続状態、及び電文受信の確認
接 続 コネク タ	ブザー	機器稼働確認音
	電 源	外径：6mm／内径：2mm
	LINE OUT	RCAピンジャック
	LINE IN	RCAピンジャック
	DG-SERIAL	Φ3.54極ジャック
	RS-232C	D-SUB9PIN
	DO	スクリューレス3.5mmピッチ
	DI	スクリューレス3.5mmピッチ

MEMO

MEMO

緊急地震速報のリーディングカンパニー



株式会社 **J** コーポレーション

総合窓口 TEL 0742-53-7833

〒631-0011 奈良県奈良市押熊町 557-7-4F

<https://www.jcorp.co.jp> fax 0742-53-7795



緊急地震速報